



平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況（非連結）

平成19年1月25日

上場会社名 NEC モバイリング株式会社 (コード番号：9430 東証第一部)
 (URL <http://www.nec-mobiling.com/>)
 問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 松尾 義武 (TEL：(045) 476-2311)
 責任者役職・氏名 取締役執行役員 川村 廣樹

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (内容)
 税効果会計について簡便法を適用しております。
 最近事業年度からの会計処理の変更の有無 : 無

2. 平成19年3月期第3四半期財務・業績の概況(平成18年4月1日～平成18年12月31日)

(1) 経営成績の進捗状況 (百万円未満は四捨五入表示)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	94,267	1.5	4,371	53.0	4,380	57.4	2,464	52.7
18年3月期第3四半期	92,894	11.7	2,857	19.3	2,783	20.4	1,614	18.7
(参考)18年3月期	127,590		4,189		4,078		2,117	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第3四半期	169 62	-
18年3月期第3四半期	111 08	-
(参考)18年3月期	145 71	-

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示します。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

全般的概況

当第3四半期(平成18年4月1日～平成18年12月31日)の我が国経済は、企業収益が好調に推移する中、設備投資も引き続き増加し、緩やかながら着実な拡大が続きました。

移動通信市場では、当第3四半期末の携帯電話全体の累計加入件数は、前期末比3.4%増の9,494万件になりましたが、9ヵ月間における純増数は前年同期比1.1%減の314万件と新規加入者数は伸び悩み、携帯電話端末の需要は、高機能な新型端末への取替が中心となりました。また、当社の販売事業の主力であるNTTドコモの端末市場では、第三代移動通信サービス対応のFOMA(Freedom of Mobile Multimedia Access)端末の契約数が、3,211万件(前期末比36.9%増)となり、NTTドコモ契約者の62%まで拡大しました。

このような事業環境のもと、当社は、平成18年10月に導入された携帯電話の番号ポータビリティなどによる市場変化に対応するため、FOMA端末など高機能端末への取替需要の積極的取り込みや、販売チャネルの拡充に注力するとともに、事業効率の改善に努めました。

その結果、当第3四半期の売上高は、主にモバイルセールス事業における売上高の増加が、平成18年4月に行われたモバイルソフトウェア事業の譲渡に伴う減収を補い、942億67百万円(前年同期比1.5%増)となりました。また利益については、基地局整備前倒し効果や、業務プロセス改善の推進などにより、営業利益は43億71百万円(同53.0%増)、経常利益は43億80百万円(同57.4%増)、当期純利益については24億64百万円(同52.7%増)となりました。

部門別概況

(モバイルセールス事業)

当第3四半期においては、FOMA端末の拡販や販売チャネルの拡充などに注力するとともに、ショップでの生産性向上など事業効率の改善に努めました。その結果、売上高は755億98百万円(前年同期比9.6%増)、営業利益についても、15億87百万円(同27.6%増)となりました。

(モバイルインテグレーション&サポート事業)

当第3四半期においては、事業者による携帯電話通話品質改善に向けた基地局整備関連需要の増等により、売上高は186億69百万円(前年同期比9.4%増)となりました。また営業利益については、売上増、業務プロセス改善、生産革新の強化等に努めた結果、27億84百万円(同98.3%増)となりました。

(2) 財政状態の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	59,178	25,824	43.6	1,777 39
18年3月期第3四半期	56,123	23,518	41.9	1,618 65
(参考)18年3月期	56,465	23,994	42.5	1,651 43

【キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第3四半期	2,306	596	649	14,939
18年3月期第3四半期	2,774	755	654	13,521
(参考)18年3月期	4,324	1,941	659	13,880

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動で得られた資金が、投資活動及び財務活動にて使用した資金を上回ったため、前期末より10億59百万円増加し、149億39百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期において営業活動の結果得られた資金は23億6百万円となりました。

これは、税引前当期純利益の計上、入金等による売上債権の減少及び未払費用の増加などの資金増加要因が、たな卸資産や未収入金の増加及び法人税等の支払などの資金減少要因を上回ったことによるものであります。

なお、前年同期と比較し、営業活動により得られた資金は4億68百万円減少しましたが、これは主に、法人税等の支払額の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期において、投資活動の結果使用した資金は、5億96百万円となりました。

これは、固定資産の取得による支出等が営業譲渡に伴う収入を上回ったことによるものであります。

前年同期比では、営業譲渡による収入があったため、1億59百万円の支出減となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期において財務活動の結果使用した資金は6億49百万円となりました。

これは、主に第34期期末配当金及び第35期中間配当金の支払いによるものです。

3.平成19年3月期の業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	127,600	4,900	2,540

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期)174円82銭

[業績予想に関する定性的情報等]

通期の売上高につきましては、モバイルセールス事業における販売増加を見込み、現時点では前回予想比36億円増加の1,276億円を見込んでおります。

また経常利益につきましては、事業効率改善活動の継続等の効果を見込み前回予想比2億円増加の49億円としております。

当期純利益につきましても、経常利益の増加を見込んだ結果、前回予想比1億10百万円増加の25億40百万円としております。

本資料に記載されているNECモバイリング株式会社の現在の戦略、計画、認識などのうち、将来の業績等に関する見通しは、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績はさまざまな要因により、見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知ください。実際の業績に影響を与える重要な要因には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢・社会的動向、当社の提供する製品やサービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、顧客の求めに応じることの出来る技術能力などです。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

○添付資料

- ・要約貸借対照表
- ・要約損益計算書
- ・要約キャッシュ・フロー計算書
- ・事業区分別状況

要約貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第34期 第3四半期 (平成17年12月31日)		第35期 第3四半期 (平成18年12月31日)		増減 金額	第34期 (平成18年3月31日)		当期 増減 金額
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比	
(資産の部)		%		%			%	
流動資産	49,714	88.6	51,766	87.5	2,052	48,874	86.6	2,892
現金及び預金	9,521		7,941		1,580	9,880		1,939
受取手形及び売掛金	19,735		18,928		807	20,418		1,490
有価証券	-		1,998		1,998	-		1,998
たな卸資産	5,930		6,423		493	4,806		1,617
未収入金	8,838		9,844		1,006	8,199		1,645
関係会社預け金	4,000		5,000		1,000	4,000		1,000
その他	1,690		1,632		58	1,571		61
固定資産	6,409	11.4	7,412	12.5	1,003	7,591	13.4	179
有形固定資産	1,210	2.1	1,230	2.1	20	1,244	2.2	14
無形固定資産	1,285	2.3	1,322	2.2	37	1,323	2.3	1
投資その他の資産	3,914	7.0	4,860	8.2	946	5,024	8.9	164
資産合計	56,123	100.0	59,178	100.0	3,055	56,465	100.0	2,713
(負債の部)								
流動負債	28,928	51.5	29,777	50.3	849	28,705	50.8	1,072
支払手形及び買掛金	16,425		15,736		689	15,761		25
未払法人税等	621		959		338	1,408		449
未払費用	10,244		11,320		1,076	9,882		1,438
その他	1,638		1,762		124	1,654		108
固定負債	3,677	6.6	3,577	6.1	100	3,766	6.7	189
退職給付引当金	3,427		3,361		66	3,541		180
預り保証金	250		216		34	225		9
負債合計	32,605	58.1	33,354	56.4	749	32,471	57.5	883
(資本の部)								
資本金	2,371	4.2	-	-	2,371	2,371	4.2	2,371
資本剰余金	2,707	4.8	-	-	2,707	2,707	4.8	2,707
利益剰余金	18,439	32.9	-	-	18,439	18,942	33.5	18,942
その他有価証券評価差額金	1	0.0	-	-	1	26	0.0	26
資本合計	23,518	41.9	-	-	23,518	23,994	42.5	23,994
負債資本合計	56,123	100.0	-	-	56,123	56,465	100.0	56,465
(純資産の部)								
株主資本	-	-	25,831	43.6	25,831	-	-	25,831
資本金	-	-	2,371	4.0	2,371	-	-	2,371
資本剰余金	-	-	2,707	4.6	2,707	-	-	2,707
利益剰余金	-	-	20,753	35.0	20,753	-	-	20,753
評価・換算差額等	-	-	7	0.0	7	-	-	7
その他有価証券評価差額金	-	-	7	0.0	7	-	-	7
純資産合計	-	-	25,824	43.6	25,824	-	-	25,824
負債純資産合計	-	-	59,178	100.0	59,178	-	-	59,178

要 約 損 益 計 算 書

(単位：百万円)

科 目	第34期 第3四半期 〔自平成17年4月1日 至平成17年12月31日〕		第35期 第3四半期 〔自平成18年4月1日 至平成18年12月31日〕		増減		第34期 〔自平成17年4月1日 至平成18年3月31日〕	
	金 額	百 分 比	金 額	百 分 比	金 額	比 率	金 額	百 分 比
		%		%		%		%
売 上 高	92,894	100.0	94,267	100.0	1,373	1.5	127,590	100.0
売 上 原 価	83,021	89.4	83,273	88.3	252		114,169	89.5
売 上 総 利 益	9,873	10.6	10,994	11.7	1,121	11.4	13,421	10.5
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	7,016	7.5	6,623	7.1	393		9,232	7.2
営 業 利 益	2,857	3.1	4,371	4.6	1,514	53.0	4,189	3.3
営 業 外 収 益	61	0.1	110	0.1	49		82	0.1
営 業 外 費 用	135	0.2	101	0.1	34		193	0.2
経 常 利 益	2,783	3.0	4,380	4.6	1,597	57.4	4,078	3.2
特 別 利 益	-	-	312	0.4	312		-	-
特 別 損 失	-	-	307	0.3	307		136	0.1
税 引 前 当 期 純 利 益	2,783	3.0	4,385	4.7	1,602	57.6	3,942	3.1
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	1,169	1.3	1,921	2.1	752		2,115	1.6
法 人 税 等 調 整 額	-	-	-	-	-		290	0.2
当 期 純 利 益	1,614	1.7	2,464	2.6	850	52.7	2,117	1.7

要約キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	第34期 第3四半期 〔自平成17年4月1日 至平成17年12月31日〕	第35期 第3四半期 〔自平成18年4月1日 至平成18年12月31日〕	増減	第34期 〔自平成17年4月1日 至平成18年3月31日〕
		金 額	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー					
税引前当期純利益		2,783	4,385	1,602	3,942
減価償却費		734	502	232	979
営業譲渡益		-	312	312	-
減損損失		-	245	245	-
売上債権の(増加)減少額		1,424	1,490	2,914	2,108
たな卸資産の(増加)減少額		427	1,617	1,190	706
未収金の増加額		1,741	1,645	96	1,102
仕入債務の増加(減少)額		3,117	141	3,258	2,484
未払費用の増加額		689	1,438	749	327
その他の		346	246	100	384
小計		4,077	4,591	514	5,612
法人税等の支払額		1,308	2,366	1,058	1,309
その他の		5	81	76	21
営業活動によるキャッシュ・フロー		2,774	2,306	468	4,324
投資活動によるキャッシュ・フロー					
有形固定資産の取得による支出		390	337	53	463
無形固定資産の取得による支出		354	479	125	428
営業譲渡に伴う収入		-	226	226	-
投資有価証券の取得による支出		-	-	-	1,005
その他の		11	6	5	45
投資活動によるキャッシュ・フロー		755	596	159	1,941
財務活動によるキャッシュ・フロー					
配当金の支払額		654	649	5	659
財務活動によるキャッシュ・フロー		654	649	5	659
現金及び現金同等物に係る換算差額		25	2	27	25
現金及び現金同等物の増加額		1,390	1,059	331	1,749
現金及び現金同等物期首残高		12,131	13,880	1,749	12,131
現金及び現金同等物期末残高		13,521	14,939	1,418	13,880

事業区分別状況

(単位：百万円)

		第34期 第3四半期 〔自平成17年4月1日 至平成17年12月31日〕		第35期 第3四半期 〔自平成18年4月1日 至平成18年12月31日〕		増減率	第34期 〔自平成17年4月1日 至平成18年3月31日〕	
		金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
モバイルセールス事業	売上高	68,951	74.2	75,598	80.2	9.6	93,090	73.0
	営業利益	1,244	43.6	1,587	36.3	27.6	2,160	51.6
	(営業利益率)	(1.8%)		(2.1%)			(2.3%)	
モバイルインテグレーション&サポート事業	売上高	17,062	18.4	18,669	19.8	9.4	24,811	19.4
	営業利益	1,404	49.1	2,784	63.7	98.3	1,912	45.6
	(営業利益率)	(8.2%)		(14.9%)			(7.7%)	
モバイルソフトウェア事業	売上高	6,881	7.4	-	-	-	9,689	7.6
	営業利益	209	7.3	-	-	-	117	2.8
	(営業利益率)	(3.0%)		(-)	-		(1.2%)	
合計	売上高	92,894	100.0	94,267	100.0	1.5	127,590	100.0
	営業利益	2,857	100.0	4,371	100.0	53.0	4,189	100.0
	(営業利益率)	(3.1%)		(4.6%)			(3.3%)	